

第2次審査基準(評価項目及び評価点数)

評 価 項 目	点数配 分:d	係数: a=d/5
1. プレゼンテーション及び提案内容		
(1) 提案システム概要	70	
①提案するシステムのコンセプトや特徴が、わかりやすく説明されているか	5	1
②提案するシステムに関する考え方が、業務の目的と相違ないか	5	1
③本業務に積極的に取り組む姿勢が伺えるか	5	1
④提案するシステムは本組合の現状を十分考慮した提案内容か	10	2
⑤稼働に向けてスケジュールが適正であるか	10	2
⑥セキュリティ対策について具体的かつ的確な提案であるか	10	2
⑦バックアップ対策について具体的かつ的確な提案であるか(耐障害性、信頼性など)	10	2
⑧システムに必要な機器構成は適正であるか	10	2
⑨質問に対する応答が明快かつ迅速であるか	5	1
(2) 運用支援及び保守	60	
①操作研修の実施等の運用支援は十分なものか	15	3
②本稼働後の保守対応は十分なものか	15	3
③障害発生時でも業務への影響を最小限にする体制が提案されているか	15	3
④サポート体制は十分になされているか	15	3
小 計	130	-
2. システムの機能の特徴及び操作性		
(1) システムの機能	100	
①提案するシステムの基本性能について仕様を満たしているか	20	4
②業務遂行にあたり有効な機能を有しているか	20	4
③第1次審査で確認したシステム機能要件書と整合性はとれているか	20	4
④将来のシステム拡張性はあるか	20	4
⑤システム化の対象範囲及び機能を有しているか	20	4
(2) システムの操作性	140	
①利便性(画面)	20	4
②展開の速さ	20	4
③合理性(出退勤の打刻、時間外申請から承認までの過程)	20	4
④効率性(事務処理等)	20	4
⑤操作のしやすさ(打刻、申請、承認の修正、確認などの機能)	20	4
⑥管理(休暇日数、申告漏れなど職員が管理しやすいかなど)	20	4
⑦データの切出・編集・加工(EXCELデータの見やすさなど)	20	4
小 計	240	-
3. システム導入による事務効率化及び経費削減		
(1) 効果的な事務効率化	100	
①事務の効率化につながる機能の提案がなされているか	30	6
②使用者の負担軽減につながる機能の提案がなされているか	30	6
③他のシステムとの連携について、効果的かつ適切な対応が行えるか	20	4
④法制度改正時などにおいて、費用面での影響が少ないか	20	4

評 価 項 目		点数配 分:d	係数: a=d/5
(2)システムの費用対効果及び経費削減		90	
	①システムの導入に係る費用を抑える提案がされているか	20	4
	②費用に対して機能は充実しているか	20	4
	③将来コストも含め、経済性に優れているか	20	4
	④人件費等の経費削減効果について	10	2
	⑤可能な限りカスタマイズを必要としないシステムであるか	10	2
	⑥クライアントやオプションの追加に伴う費用の発生が抑えられるか	10	2
小 計		190	-
4. その他			
	(1)効果的な追加提案があるか	20	4
	(2)評価者がその他評価する点について(追加点)	20	4
小 計		40	-
合 計		600	-

審査点数は5段階評価とする。 5:非常に良い 4:良い 3:普通 2:悪い 1:非常に悪い

※ 評価点数は各委員の審査点数平均値に係数を乗じた数値となる。

※ 評価点数は小数点以下第2位を四捨五入する。